

秋季大会一次予選を振り返って

秋季大会においては、多くのご声援をいただきありがとうございます。結果を残すことはできなかったものの、多くの収穫を得ることができた大会でした。

1点差の接戦を2試合経験し、あらためて勝利することの難しさを学びました。また、終盤に失点をしてしまうという共通の反省点も出てきました。全ての試合において、中盤まではリードしているか、接戦の状況の試合が多く、これも全試合に共通した反省点であります。

この4試合を経験し、春季大会へ向けての課題として次のことを確認しました。

- ① 1番から9番まで途切れない打線を作る。打撃の全体的底上げ。走塁面での技術向上。
- ② バッテリーの経験値を増やし、複数投手の独り立ち。
- ③ 戦う集団として発熱すること。自分に負けない、甘やかさない厳しさを身に付けることによる人間的成長。

これらのことを半年間掛けて確認し、身に付けていくことを共通の認識としました。

良い面、収穫も多くありました。ヒットを多く重ねた活発な上位打線。新チーム結成以降、こだわりを持って取り組み続けたバントやスクイズ。それぞれの選手が、自らの役割を理解し、懸命に取り組んだ成果だと思えます。ただ、これらのプラスの面も現状維持では後退と同じであることを確認しました。ヒットを重ねることはもちろんのこと、チャンスで確実に一本打てる勝負強さや長打を打つだけの力を身に付けることなど、課題や春季大会へ向けてのテーマを上げれば数え切れないほどのものがあります。

「課題＝希望」。松平高校の考え方の一つの柱です。もう一度、課題を見つめ直し、全力で取り組むことで希望へと変換していきたいと考えております。

春季大会でも変わらぬご声援、宜しくお願い致します。

松	平	2-3	安城学園
松	平	4-7	知立
松	平	2-9	岩津
松	平	7-8	岡崎城西